

安居山地区

なかべっしょ どうそじん 中別所の道祖神

道祖神は、道ばたの神様で、江戸時代に疫病などが集落に入るのを防ぐために造られ、集落の境や入口などに祀られるようになりました。

現在、市内にはさまざまな種類の道祖神が、398基あり、交通安全や夫婦円満、子孫繁栄などの願いが込められ信仰されています。

安居山中別所集落の入口にある「中別所の道祖神」は、合掌しているふっくらとした童顔の男女の像が刻まれた双体道祖神です。寛政3(1791)年に集落の人々により建てられました。

中別所では、昭和初期まで、特に厄年の親が子どもの健やかな成長を祈り厄を払うために、生まれて間もない子どもを一旦道祖神の前に寝かせ、知人などに拾い上げてもらう風習がありました。



中別所の道祖神(双体道祖神)



拡大写真

小正月である1月14日頃、市内各地ではどんど焼きが行われます。

どんど焼きは道祖神の祭りともされ、中別所でも道祖神の前でどんど焼きが行われます。



中別所のどんど焼き



歩く博物館 Oコース<安居山地区> 安沼用水の里を歩くコース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館



歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

料 500円

申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で

他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。

問 文化課 ☎22-1187

✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック



暮らしのなかに

一人一人が少し工夫するだけで、誰かの優しい暮らしにつながります。できることから一つずつ、暮らしのなかに取り入れてみませんか。

富士山を守り未来につなぐ

エスディージーズ

富士山SDGs

富士宮市に住む私たちが、これからもずっとこのまちで住み続けるためにみんなで取り組む目標です。

できることから一つずつ、一人一人が意識して行動しましょう。

ここでは富士宮市の取り組みを紹介します。



富士山をはじめとする自然環境を保全し、動植物の生態系を守る。

地球温暖化などの気候変動により、森林の減少や湿原の乾燥化が少しずつ進んでいます。

市では、自然保護、環境保全のため、火入れや、下刈りによる森林育成、自然の生態系の保全活動などを行っています。

富士宮市のSDGsへの取り組みを市公式ウェブサイトで紹介しています。

HP [トップページ](#)>[富士宮市について](#)>[市政の運営](#)>[推進事業](#)>[地方創生に向けたSDGs](#)



小田貴湿原の乾燥化を防ぐ



小田貴湿原は、富士山西麓唯一の湿原で、田貫湖の北に位置しています。湿原では、乾燥地を好むススキなどの植物の生育する範囲が増加し、湿地を好むミズゴケやアサマフウロなどの植物の生育する範囲が減少しています。

湿原の自然環境や生態系を守り、乾燥化を防ぐため、毎年草刈りを行い、ススキなどの植物を取り除いたり、専門家と協力して、湿原内の調査を行っています。

問 企画戦略課 ☎ 22-1113 FAX 22-1206

コミュニケーション手段を増やす

手話

夫



左小指に添寄せた右親指を前に出す

妻



左親指に添寄せた右小指を前に出す

過去に掲載した手話を動画で紹介しています。

HP [トップページ](#)>[市民の皆さんへ](#)>[健康・福祉](#)>[障がい者支援](#)>[手話で話そう](#)



恋人



両手人差し指を軽く曲げ、左右から弧を書き中央で交差する



(恋人が男性)
右親指を出す

(恋人が女性)
右小指を出す

問 障がい療育支援課 ☎ 22-1145 FAX 22-1251